

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473500688		
法人名	有限会社 トリオ		
事業所名	グループホーム きららの里		
所在地	広島県山県郡北広島町本地1931 (電話) 0826-72-7324		
自己評価作成日	平成27年2月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3473500688-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーセンター振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年3月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>1、日々の生活を心穏やかに過ごしていただくために、しあわせ、ほがらか、生き生きと・・・をモットーに、ご利用者の皆さんと職員が一体となって毎日を笑顔で過ごせるよう、住まいの環境や介護の質の向上を目指して努力しています。</p> <p>2、小規模、少人数制で一人ひとりの個性を大切に、ご家族様と連携し、家族的な雰囲気の中で毎日を過ごしていただくよう支援しています。</p> <p>3、訪問された皆さんから「施設の中がとても明るくなごやかで、アットホームを感じる」と評価を頂いています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「しあわせ、ほがらか、生き生きと・・・」をモットーに、「職員同士が仲良く働いてこそ、利用者がホームで朗らかに生活できる」との考えでホームを運営している。利用者はリビングで過ごす時間が長く、利用者のペースで過ごせるように職員は配慮し、利用者はゆったりと過ごしている。利用者の今までの生活をよく理解して利用者の思いを大事にしている。利用者の個別ケアについて、職員間で話し合いを行い、職員の都合を優先せず、利用者本位のサービスに取り組み利用者が毎日笑顔で生活できるように努めている。誕生会ですきやきパーティーをしたり、ひな祭りには、弁当を取ったり、時には焼きそばを作るなど、利用者と食事を楽しむ機会をたくさん設けている。職員・利用者・家族がひとつの家族のようにお互いにコミュニケーションを取りあつて利用者を支援している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念を基に、毎年職員間で深く掘り下げ話し合い、理念に沿った目標を設定し、達成できるよう月2回のミーティングの中で確認し、共有し、努力しています。	経営理念は、職員が話し合って作成し開設時の理念とは異なっている。ホームの年間事業計画は職員が作成し、その中に「年間方針」も決め、年度末に評価している。毎朝の申し送り時には、「敬愛の心」など6項目からなる社是を復唱し、確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運動会、保育所の発表会等地域の行事に参加し、地域の方には消防訓練等施設の行事に参加していただき交流を図っています。又、「子供110番」の場所として提供し、子供さん達が登下校の際気軽に立寄って頂けるようにしています。	利用者は、近隣の保育園の発表会や小学校と合同の運動会を見学に行ったり、ホームを訪問する保育園児の演技を楽しむこともある。地域の祭りなどのイベントを職員が手伝ったり、「子供110番」として、地域に貢献している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の高齢者の方々を対象に「きらら会」を発足し、月1回健康相談、リクレーション、工作などを実施し地域の方々の憩いの場となっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の高齢者をお世話される役員の方々で構成し、事業所の状況、利用者の状況などを報告します。また推進委員の方たちが参考となるテーマを選んで情報交換をします。いろいろな提案、意見などを頂き業務に活かしています。	運営推進会議は、毎回、民生委員・自治会長・老人クラブ会長など多数の地域住民が参加し定期的に開催されている。会議では、毎回テーマを決め、情報交換会の場として、活発な意見交換をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町が開催される会議や研修会に積極的に参加し、事業所の現状を報告し、町の現状、方針などの情報交換を行っています。また、事業所で抱え込めないと判断した時は地域包括支援センター、介護保険課と相談し、解決しています。	毎月開催される地域包括支援センター主催の「地域ケア会議」には、職員が参加し意見交換をしている。また、年1回、町担当者・民生委員・警察担当者・介護施設などが参加して行われる町主催の「高齢者虐待防止」に関する勉強会に、ホーム代表者が参加し意見交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>居室や玄関には施錠せず、自由に入ることができるよう対応しています。特にホール外へ出入りの時は転倒などがないう、見守り付添っています。身体拘束は今までしていません。</p>	<p>年に1回、「身体拘束」に関する職員の勉強会を行なっている。開設以来、身体拘束の事例はなく、玄関は施錠せず、利用者がいつでも出入り出来るようになっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ご利用者の尊厳と主体性を尊重することを介護の重点目標に掲げ、職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、研修会、勉強会を開き、意識をもって虐待しないケアの実践に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会等に積極的に参加し、そこで得た知識の勉強会を行い、全職員が共有しています。又、個々の必要時には話し合いの場を設けています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居に際しては、ご利用者、ご家族様と面談し、施設を見学して頂き、契約内容、重要事項説明書等を理解納得していただき同意を得ています。退去時は、行き先の情報を取得し、説明して不安の解消に努めています。利用契約、改定等の必要が生じた時は十分説明し、理解し、納得して頂いたうえでを行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様には施設の行事に参加していただき、また、運営推進会議にも出席して頂き外部者と意見や協議を行い、運営に反映しています。「きららだより」を毎月発行し個々の生活の様子を写真と手紙によりお知らせしています。</p>	<p>「こどもの日」および「敬老会」の行事には、家族も参加し、その際に、家族の要望を聞いている。毎月「きららの里たより」に利用者の近況を書いて報告し、それ以外にも家族とは常に連絡を取り報告することで、良好な関係が出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	2週間ごとにミーティングを行い、代表者、管理者も参加し、職員の意見や提案を話し合い、問題解決に努めています。代表者や管理者、職員が一体となって運営しています。	月2回の職員会議では、管理者が職員の意見を聞き、また、デイサービスと合同の職員会議では、代表者も出席し職員の意見を聞いている。職員は、行事や設備の不備など、常に代表者と相談しながら問題を解決し、業務を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員と意思疎通に努めて、働きやすい職場作り、やりがいのある職場作りに努めています。現場に入り職員の様子や利用者を観察しています。職員との食事会、ご利用者とのレクリエーションにも参加しコミュニケーションを図っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設長、管理者が研修の内容を吟味し、各職員が研修に参加できるよう計画しています。また、施設内の勉強会を定期的実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域同業者と交流を深めるため、地域ケア会議、多職種連携研修会に出席し各事業所との意見交換をしています。また、虐待防止地域ネットワーク代表者会議にも参加しています。研修会、講習会あるごとに報告勉強会を行っています。		
多職種連携研修会、					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	個々の観察の中で、ご本人が困っていること、不安に思っていること等を聴き、今何が必要な支援かを見極め、確認しながら対応しています。必要な時はご家族と相談して解決しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族が困っておられること、不安に思っておられる内容をよく聴き、これまでのご苦勞を受け止め、今後の対応についてご家族とのコミュニケーションを密にとっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用を開始するに当たり、ご本人の生活自立度及び要介護状況、疾病の有無、ご本人の希望、ご家族からの相談内容を見極め、併設しているデイサービス及び近隣の医療機関を含めた提案をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	工作や手芸、畑作業など自分で出来ることをしていただき、出来ない部分は職員が陰ながら支え、また職員も教えていただきながら、利用者に達成感を味わってもらい、共に喜べる環境づくりをしています。また、食材加工、おやつ作りなど職員と一緒にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者の様子をこまめに報告し、ご家族さんにも気軽に訪問していただいたり、電話で相談したりして共に支えあう雰囲気を作っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人の思い出を大切にするため、馴染みの場所にドライブし、利用者の野山で山菜取りをしながら、友人や地域の方と交流が取れるよう支援しています。	ホームの職員は、利用者の思い出の場所を大切に考え、かつて山菜取りに行った山、卒業した学校や神社などに利用者と一緒に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	認知の程度の個人差はありますが、自然とお互いが助け合ったり、思いやりする場面が見られます。プライベートは除き、助け合いが行えるよう、職員間で調整し支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設へ移転された方には、訪問してお話したり、ご家族には様子を聞いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中でご本人が興味を持っている事柄、行動の把握に努め、ご本人の希望を聴きながら対応しています。	日常会話から得られた利用者の思いや意向は、「申し送りノート」や「何でもノート」に記録し、職員間で共有している。山菜取りなど、利用者の思いを実現している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人の生活歴、生活環境の把握に努め、日々の記録や行動から、生活リズムを崩さないようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々一人ひとりの係わりのなかで、心身状態、今何をしたいか何ができるか、何を希望しているかを声かけしながら見極め、ご本人の意思の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>2週間ごとにミーティングを行い、ご利用者一人ひとりのケアのありかたについて検討、見直しを行い、必要に応じてご家族や関係者と相談し、介護計画を作成しています。</p>	<p>モニタリングは、毎月、職員ミーティングで職員の意見を聞き、ケアプラン作成者がまとめている。また、6ヶ月に1回のケアプランの見直し時には、ケアカンファレンスを行い、出席した職員の意見を聞きプランの見直しを行っている</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子観察に力を入れ、個別記録や気づきノート、送りノートに記入し活用して、全職員に周知し話し合い、ケアに活かして介護計画に取り入れています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人の希望にできるだけ副うように、ご家族と相談しながら柔軟な支援に心がけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の田植えや稲刈りの見学、野菜作りと収穫、ぶどうや柿、栗の秋の味覚、ベランダで池の鯉を見ながらのお茶会、ご本人の希望や意向を、必要に応じて相談しながら支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居されるまでのかかりつけ医との関係を大切に、できるだけご家族との受診を行い、ご利用者の状態把握をしてもらっています。必要な方には往診をしていただいています。</p>	<p>入所時に利用者や家族の要望を聞き、かかりつけ医を決めている。月1回の受診は家族が付き添い、職員に報告している。また、訪問看護師は、週に1回定期的に訪問し、利用者の健康情状況を把握している。体調不良時には、職員が各医師に連絡し対処している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎日バイタルチェック、健康チェックを行い、異常の早期発見に努め、訪問看護師、協力医療機関とも報告、連絡、相談しながら支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には細かい情報を提供し、ご家族と相談の上、早期退院ができるよう、医療機関と情報交換しながら対応をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ホームでできること、できないことをご家族の理解を得、ご家族の意向を聞きながら、主治医の指導を受け、職員間でチームケアを行っています。</p>	<p>入所時に、「利用者が重度化した際のホームの対応」について家族に説明している。利用者が重度化し、医療行為が必要な場合には、医師と家族が相談し今後の方針を決定し、その方針に沿って利用者を支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AEDを備え、全ての職員で応急手当の訓練を行っています。消防署の指導による応急手当の訓練も行っています。職員への緊急連絡網も備えています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難誘導や避難方法など訓練を行い職員全員が周知しています。また、地域には緊急連絡網ができており協力体制もできております。また、スプリンクラーや火災通報装置も備えています。地域の方の参加を得て、消防訓練を行っています。</p>	<p>年に2回の消防署立会いの避難訓練（うち1回は夜間を想定）を行い、その際には、利用者も参加し、避難誘導を行っている。また、それ以外にホーム独自の避難訓練も行なっている。避難訓練には地域住民も参加し、災害時には、地域住民との間の緊急連絡や支援の体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者に対する言葉使い、介助については職員間で注意しながら、日々気をつけるよう努めています。プライバシーを損ねないよう粘り強く話をし、納得してもらえるよう努めています。	「人格の尊重」に関しては、職員が社外研修で勉強したことを、他の職員に伝達講習している。利用者のプライバシーに配慮して、申し送りの際には、利用者の実名を言わずに報告している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者とのふれあいの時間をできるだけたくさん持ち、希望や行動を把握した上で、ご本人の思いを尊重し、納得し、安心して暮らせるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自室やホールは自由に入出入りしていただき、昼寝、読書、TVを見るなど、自分のペースで過ごしていただきます。一人ひとりの安全で安心のある生活ができるよう、目配り気配りをしてしながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望によりホームでの出張散髪も行っています。身だしなみやおしゃれを自由にできるよう支援しています。行事の時、特別な時は一層気配りをしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下準備、配膳、片付け、食器洗いなど一人ひとりの力を活かせることを常に考えながら、職員と一緒に行っています。	献立は予め作成するが、利用者の要望で変更したり、時には焼きそばを皆で作って楽しむなど、臨機応変に対応している。誕生会ですき焼きパーティーをしたり、行事に弁当を注文したり、時には外食など利用者と一緒に楽しむ機会を設けている。たまねぎの皮むきなど、利用者と一緒に準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスの低下が見られる方は栄養補助食品を摂取していただき，1日の食事，水分量を記録し，少ない方には摂取していただくようにしています。食事内容も体調に応じてメニューの変更，刻み食，ミキサー食の支援をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔機能向上推進事業の指定を受け，ご利用者と職員が口腔ケアと口腔体操の指導を受け，毎食後声掛けし，職員と一緒に清潔保持に努めています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的に声かけして，排泄の失敗をなくし，自立に向けた支援を行っています。排尿の見られない方には，ポータブルトイレにて排泄を促すよう努めています。</p>	<p>利用者の排泄パターンを理解し，声かけをして，トイレ誘導を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとり，水分摂取の確保や介護体操，朝の牛乳，果物，ヨーグルトなどで自然排便に心がけています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望された時，その時の身体状況を確認し入浴して頂いています。</p>	<p>利用者の要望で入浴時間を決めており，中には毎日入浴する人もいます。シャワー浴や見守り浴など，利用者に応じた入浴を行い，入浴を嫌がる方へは無理強いせず，別の日に入浴するようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	自室で休まれる方、職員が見えるところで休みたい方など、安心して過して頂くよう支援しています。定期巡室して、日々の天候や希望にあわせ室温、照明を調節しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	目的や作用をしっかり把握しておき、職員への周知を徹底しています。使用方法や副作用など、医師の指示のもと十分理解して対応をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	笑顔でいられる時間を少しでも多く提供できるよう支援しています。1人ひとりに合った、楽しいと思える時間の支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望を聞いて、花見ドライブ、紅葉ドライブなど季節に応じて外出し、田園での散歩も行っています。一人ひとりその日の体調を見て声かけをし、屋外に出ていただけるよう心がけています。	天候の良い日には、出来るだけ散歩するようにしている。利用者と一緒に食材の調達に近所のスーパーに行くこともある。桜の時期には、少し遠くまで花見に出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭の管理は職員が行っており、必要なものは職員が購入しています。体調が良ければ職員が同行し確認の上、購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	我が家への不安、家族への寂しさなど訴え、思いをくみ取り、電話して頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者のなじみの木造住宅で、畳の間に床の間があり、落ち着いた造りになっています。壁面やホールに行事や日常の生活ぶりの写真を張り、季節ごとにご利用者と共に作成した飾りをしています。ベランダに出ると池の鯉や築山の四季を感じることが出来ます。	季節に応じた作品をレクリエーションで作成し、室内に飾っており、また、季節の花を飾り、利用者に季節を感じてもらいたいと考えている。室内を清潔に保つように、職員は毎日掃除し、利用者と一緒にモップで掃除することを日課としている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブル椅子、畳の間、ソファなど、思い思いの居場所を提供しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者のご家族が相談されて、使い慣れたものを配置されています。ご家族の写真を貼り、自分で作られた作品を飾り、思い思いに工夫されています。	家族の写真や、今まで使っていた家具、大事にしている人形やぬいぐるみを居室に持ち込んで、居心地よい空間を作るように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部は全てバリアフリーで、廊下、トイレには手すりを設け、自立した生活が送れるよう工夫しています。必要な方は居室に手すりを付けたり、畳を敷いています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームきららの里

作成日 平成27年4月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		長期入居者さんに対し、なれあいになりがちになる。	利用者に対して笑顔で声かけをする。	常に利用者の様子を観察しながら声かけをする。	5月～10月 毎日反省会を開く。
2		職員同士の報告連絡相談を徹底する。	職員同士の報告連絡相談を徹底する。	入居者各自の問題点を共同送りノート活用を徹底する。必ず見てサインする。	27年度を通して行う。
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。